

## 第2章 平成16年度 環境関連事業一覧表

### 1 ごみゼロおおいた作戦の展開

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
1	生活環境部	ごみゼロおおいたキャンペーン展開事業	特別枠	9,759	キャンドルナイト、県民一斉ごみゼロ大行動といった「ごみゼロおおいたキャンペーン」を展開中。
2	生活環境部	ごみゼロおおいた作戦推進事業	特別枠	5,360	ごみゼロおおいた作戦を推進するために、県民会議や実施本部を開催するとともに、「美しく快適な大分県作り条例の周知を図るため、啓発活動を実施する。また、長期総合計画の見直しやごみゼロおおいた作戦の展開などにあわせて、平成9年度に策定された県の環境基本計画を見直す。
2事業		小計		15,119	

### 2 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
1	企画振興部	自然保護ネットワークづくり事業	継続	3,429	自然体験活動の指導者を対象に「自然ふれあい活動リーダー研修会」を6月から実施している。(毎月1回、9月までの4回実施。受講者34名)また、新たな指導者を育成するため、7月に大分市で「自然観察指導員養成講習会」を開催した。(受講者58名)
2	企画振興部	自然公園施設整備事業	継続	38,081	久住山避難小屋トイレの再整備に必要な許認可等を取得し、7月30日に工事を発注した。10月18日に完成予定。
3	企画振興部	希少野生生物保全・復元サポート事業	特別枠	3,231	希少野生動植物の保護に関する条例の素案を作成し、7月30日から県民意見の募集を行っている。(8月31日まで)また、希少野生生物の保全復元を進めるための基本的方針の策定に取り組んでいる。(16年度中に策定予定)
4	農林水産部	里山林保全・活用モデル事業	特別枠	3,609	地域住民等の参加により、荒廃した里山林の整備を進め、竹林等森林資源の循環利用を図るとともに、「森林環境教育」を一体的に推進し、活力ある山村社会の構築を図る。
5	農林水産部	生態系保全型水田整備推進事業	継続	6,500	生態系保全工法を採用した水田整備をモデル的に実施する。また、事業成果について、モニタリング調査、点検・評価を実施する。
6	農林水産部	地域用水環境整備事業	継続	63,000	生態系保全のための施設やベンチ、水飲み場、休憩所、遊歩道等を設置する。
7	農林水産部	田園空間整備事業	継続	231,000	農村の伝統的産業施設及び美しい農業景観等の保全、復元等に配慮した各種生産基盤等を整備し、魅力ある田園空間づくりによる都市との共生を推進する。
8	農林水産部	再造林促進緊急対策事業	継続	87,200	20%以上の広葉樹の植栽を伴う再造林に対して、公共造林事業の補助率を10%高上げすることで、森林所有者の森林造成意欲を喚起し、再造林の促進と森林の有する公益的機能の低下防止を図る。平成16年度は150haで実施予定。(平成15年度は30ha実施。)
9	農林水産部	シカ被害防止対策事業	一部新規	14,938	適正な密度管理を行うための生息調査、被害の未然防止のための防護柵の設置、地域の農林家が捕獲技術の修得や免許取得の支援等を行うほか、シカ肉の加工方法を検討する等、総合的なシカ被害防止対策を実施する。

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
10	農林水産部	野生鳥獣との共生総合対策事業	継続	65,339	イノシシ等による農林作物被害を未然に防止するための防護柵の設置、広域一斉捕獲及び箱わな等による捕獲に要する経費に対して補助する。平成16年度は防護柵等を約19km設置する予定。(平成15年度は約24km設置。)
11	農林水産部	森林ボランティアスクール推進事業	新規	6,288	森林ボランティアスクールを開講し、新規ボランティアを養成するとともに、指導者であるグリーンインストラクターの組織化を支援してサポート体制の整備を行い、県民総参加の森林づくりを推進する。
12	農林水産部	ふるさとの森再生モデル事業	継続	15,514	上流・中流・下流それぞれの森林の恩恵を受けている関係者が連携し、植林が行われていない伐採跡地等の整備不十分な森林の解消に向けた調査・検討を行う。平成16年度は筑後川流域で実施予定。(平成15年度は山国川流域で実施。)
13	農林水産部	造林事業	継続	2,527,914	森林整備の推進を図るため、造林事業に要する経費に対して補助する。平成16年度は約16,000haの森林整備を実施予定。(平成15年度は約14,000ha実施見込。)
14	農林水産部	保育間伐推進緊急対策事業	継続 (造林事業含)	503,067	3～7歳級の若齢林の保育間伐を促進するため、県・市町村の上乗せにより、公共造林事業の補助率を高め、健全で活力ある森林の維持を図る。平成16年度は4,000haの間伐を実施予定。(平成15年度も4,000ha実施。)
15	農林水産部	恵みの森再生緊急対策事業	継続 (造林事業含)	19,000	再造林放棄地の新植を促進するため、80%以上の広葉樹植栽条件に、自己負担がゼロになるまで県・市町村の上乗せ助成を行い、森林の早期回復による公益的機能の発揮を促進する。平成16年度は20haの植栽を実施予定。(平成15年度は40ha実施。)
16	農林水産部	長伐期誘導間伐推進緊急対策事業	継続	18,480	皆伐の回避・長伐期への移行により高齢級森林の健全化を図るため、8・9歳級の保育間伐に要する経費に対し、県・市町村で単独60%を補助する。平成16年度は400haの間伐を実施予定。(平成15年度は500haで実施。)
17	農林水産部	県民総参加の森づくり推進事業(もう一步森へ推進事業)	一部新規	25,152	県民総参加の森林づくり県民会議、おおいた百年の森林選定部会の開催、豊かな国の森林づくり大会開催、遊学の森整備事業(学校林施設整備助成等)、緑のふれあい活動支援事業(ボランティア団体に県民の森をフィールドとして貸付)、緑のボランティア支援センター事業(支援センター運営助成)、森林・山村づくり支援事業(森林施業体験、企業参画の森林づくり)、森林ボランティアスクール推進事業等、各種施策の実施。
18	土木建築部	里の川整備事業	新規	20,000	地域住民と協働し、河川整備の仕組みと地域の活性化を図るため、市町村の各種計画と連動した河川空間の整備を行う。三重川を委託済。
19	土木建築部	河川再生事業	継続	100,000	周辺公園区域と一体化した良好な河川空間整備を目的とした、護岸の傾斜化や河川水の浄化対策を実施する。委託、工事契約済。
20	土木建築部	ダム周辺環境整備事業	継続	111,000	ダム湖における親水性の向上や、利用を阻害している箇所並びに利用上危険と思われる箇所の整備・改善を実施する。実施内容の調整中。
21	土木建築部	海岸環境整備事業	継続	150,000	地域活性化を図るまちづくり計画の中で、防護・利用・環境の調和のとれた海岸環境整備を行う。実施内容の調整中。
22	土木建築部	海岸環境整備事業・港湾	継続	399,000	護岸等の整備により背後地の防護・利用・環境の調和のとれた事業の実施を準備中。

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
23	土木建築部	屋外広告物指導	継続	1,373	違反広告物の簡易除去を定期的実施する等、屋外広告物の指導・取締りを定期的実施中。
24	土木建築部	緊急雇用創出道路環境美化事業	新規	65,000	春先に観光地周辺における道路の草刈り清掃を実施。
25	土木建築部	緊急雇用創出河川海岸環境美化事業	新規	19,500	河川・海岸のごみ撤去等の環境美化を行う。実施箇所を選定中。
26	土木建築部	道路環境整備	継続	1,147,527	道路の草刈り清掃、街路樹の剪定等を定期的実施中。
27	土木建築部	河川海岸維持管理	継続	60,664	河川・海岸の草刈り清掃等の環境美化を行う。委託契約済。
28	土木建築部	港湾管理	継続	119,933	港湾施設の草刈り、清掃、ごみ拾い等といった維持管理事務を委託する。委託契約済。
29	土木建築部	砂防修繕事業	継続	4,050	観光都市別府を流れる都市河川として古くから市民に親しまれている境川・春木川において、周辺住民のボランティア活動が及ばない場所について草刈りを実施中。
29事業		小計		5,322,584	「保育間伐推進緊急対策事業」、「恵みの森再生緊急対策事業」は「造林事業」の内数であるため小計には含めない。

### 3 循環を基調とする地域社会の構築

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
1	総務部	産廃税導入事業	特別枠	2,235	4月に県下7箇所で行った事業者、処理業者等を対象とした産業廃棄物説明会を開催した。産業廃棄物条例は6月議会で可決成立した。
2	総務部	森林環境税導入事業	特別枠	14,862	森林環境税制懇話会を3回開催し、あわせて山国町での現地視察を行った。また、6月末にグランシアタで「すべての県民で支える森林づくりシンポジウム」を開催した。
3	企画振興部	自然環境保全管理事業	継続	3,330	自然公園内の各種行為に対する許可等事務、現地調査、指導監督等を行うことにより、自然環境の適正な保全を図る。
4	福祉保健部	社会福祉法人指導監督事業	継続	532	39法人の監査を実施した。今後86法人を監査予定。
5	福祉保健部	医療関係行政指導事業	継続	579	医療施設に対する立入検査の一環として、医療廃棄物の適正処理を指導する。9月以降実施の予定。
6	福祉保健部	薬務取締事業	継続	350	毒劇物・医薬品・医療用具製造所に対し、22件の立ち入り検査を実施。
7	福祉保健部	社会福祉施設整備事業	継続	1,439,936	今年度の施設整備において、ソーラーの設置等、環境関連としての対象施設はない。
8	生活環境部	おおいたの空環境改善事業	特別枠	3,928	大分県低公害車普及促進協議会の発足。CNG車試乗・補助説明会を後援。DPF等装着助成事務を準備中。関係団体の取組等を照会。
9	生活環境部	循環型社会形成推進モデル事業	特別枠	5,250	エコ・コミュニティ実践事業：一定区画の公共の場において、地域住民とボランティア等が共同で行う環境美化・保全活動、環境学習等に対し支援した。エコ・マネー実証事業：コミュニティ内でのごみ減量化を促進するため、地域通貨活動事業を行う市町村に対し補助する。(関係市と協議中。) 空き缶等散乱防止実証事業：NPO、民間団体、事業者等の連携により、空き缶回収システムを構築する事業を行う市町村に対し補助する。(関係市と協議中。)

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
10	生活環境部	環境保全対策事業	継続	8,229	環境審議会の開催や、ISO環境マネジメントシステムを推進する。
11	生活環境部	水道水安全確保推進事業	新規	130,248	水道水源確保対策事業、小規模水道施設整備補助、簡易水道等施設整備費補助については市町村事業費ベースで50.6%執行。水源保全条例の策定に向けた第1回検討委員会を開催。
12	生活環境部	特殊公害対策事業	一部新規	12,354	自動車交通騒音の常時監視を行うとともに、道路に面する地域内の住居等のうち、環境基準値を超過する戸数や割合等を把握することにより評価する「面的評価システム」を導入するための業者選定中。航空機騒音調査を実施。
13	生活環境部	ダイオキシン総合対策推進事業	継続	27,799	一般環境調査（大気・水質・底質）を実施。発生源周辺調査の準備中。平成15年度調査結果を公表予定。
14	生活環境部	水質環境基準調査事業	継続	3,348	類型指定を行う水域（伊呂波川、都甲川）の水質調査を実施し進捗率41.7%。水道水源水質調査を実施予定。
15	生活環境部	有害化学物質対策推進事業	継続	2,332	有害大気汚染物質調査の5回目、化学物質適正管理調査を実施済。
16	生活環境部	産業廃棄物処理対策事業	継続	266,166	（財）大分県環境保全センターの運営の安定と同センターの「大分建設資材再生プラント」をモデルとした県内建設副産物のリサイクル促進を図るため、用地費の一部と補助金を助成した。
17	生活環境部	産業廃棄物適正処理推進事業	継続	41,879	廃棄物の不法投棄・不適正処理を防止するためのスカイパトロールを2回実施した。排出事業者、産廃処理業者への指導を行った。廃棄物の適正処理に関する条例の制定を準備中。自動車リサイクル法に係る事業者への指導・監督を行った。産業廃棄物適正処理推進基金への造成を実施する予定。
18	生活環境部	産業廃棄物不法投棄対策事業	特別枠	2,825	産業廃棄物の不法投棄が頻繁に行われる休日、夜間・早朝の監視パトロールを実施するための委託を行った。
19	生活環境部	PCB廃棄物対策推進事業	継続	19,432	PCB廃棄物処理費用負担能力が低い中小企業を助成するため、PCB廃棄物処理基金への拠出を行う。（3月末予定。）
20	生活環境部	廃棄物減量化推進事業	継続	10,782	ごみ減量化推進事業費補助を日田市に対して行った。ごみ減量化に関する調査、提言活動等を行う市民グループを募集中。産業廃棄物税の導入、今年度の廃棄物リサイクル製品認定、マイバッグ・キャンペーンの実施、大分ゼロエミッションプランの作成をそれぞれ準備中。
21	生活環境部	産業廃棄物対策事業	継続	38,157	産業廃棄物監視員の配置による廃棄物の不法投棄防止、産業廃棄物処理施設設置の事前指導、産業廃棄物最終処分場の水質検査、産業廃棄物適正処理の推進を図るための、産業廃棄物処理業者及び処理施設等への立入検査・指導並びに設置許可調査を実施する。
22	生活環境部	環境整備指導事業	継続	17,762	清掃船による別府湾海域の漂流物等の清掃活動を行っている（社）別府湾をきれいにする会の運営について支援した。
23	商工労働部	商店街競争力強化推進事業	継続	5,730	商店街振興組合等が実施するリサイクルシステムの研究・啓発、空き缶回収機等の設置に対して助成する。
24	農林水産部	地域循環型農業支援事業	特別枠	3,868	家畜排泄物等の有機資源のリサイクルを図る循環型農業を推進する。耕種農家に堆肥を供給する受託作業の助成等耕畜連携の強化を図る。堆肥資源発生状況調査と需要状況調査を実施中。

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
25	農林水産部	環境保全型農業実践強化事業	特別枠	11,653	減農薬・減化学肥料農業に取り組む生産集団の拡大とさらにステップアップさせる技術導入に対する支援を実施する。
26	農林水産部	バイオマス総合利活用推進事業	継続	30,466	バイオマス利活用推進協議会の開催、バイオマス利用施設の整備を支援する。(日田市)
27	農林水産部	環境保全型農畜産整備事業	継続	133,581	家畜排泄物の不適正処理の解消のため堆肥舎等の整備に対して補助する。
28	農林水産部	いきいき農地基盤整備事業	新規	3,300	耕畜連携を図りながら、資源循環型農業の拡大・定着を目指し、農地、農業水利施設等の整備を実施する。
29	農林水産部	土壌保全推進事業	継続	1,554	土壌の維持管理を適正に行うために土壌汚染対策の検討、土壌診断体制の整備、土壌管理に対する指導を実施する。
30	農林水産部	農業用廃プラスチック適正処理対策事業	継続	5,036	農業用廃プラスチックの適正処理及び排出量抑制対策を実施する。廃農薬等の適正処理等新たな取組を推進するため、農業廃資材適正処理推進協議会を設立。
31	農林水産部	漁場クリーンアップ事業	継続	5,200	市町村が行う海浜における廃棄物の廃棄、底引き網漁業等で漁獲物に混じって水揚げされるごみの処理及び有用動植物に被害を与えるサメやトビエイ、ツメタガイ(肉食二枚貝)の駆除を支援する。
32	土木建築部	おおいたの水環境保全事業	特別枠	1,826	「大分県・全県域汚水適正処理構想」の見直しを受け、「生活排水処理に関する基本方針」を策定するとともに、生活排水対策に関する取り組みを実践するモデル集落に対し市町村を通じて助成する。また、研修会の開催等を通じて、新構想に基づき市町村が行う生活排水処理施設の整備を側面から支援する。パンフレットを作成済。
33	土木建築部	下水道整備緊急促進事業	継続	394,685	公共下水道は、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全を目的とする重要な社会基盤施設であるが、大分県の下水道普及率は37.2%と全国平均65.2%に比べて大きく遅れている。しかし、下水道事業の推移には多額の費用を要するため、平成3年度から県費補助制度を設けて市町村の財政負担を軽減し、未着手市町村の早期着手及び普及率の向上を図っている。
34	土木建築部	下水道県過疎代行事業	継続	560,000	財政力、技術力が十分でない過疎町村に代わって、終末処理場等の根幹的施設を県が建設するもので、平成4年度以降、大山町など6町村で事業を実施し、供用を開始している。平成15年度は真玉町、香々地町で事業を実施しており、両町とも平成18年度の供用開始を予定している。
35	土木建築部	小型合併処理浄化槽設置整備事業	継続	363,261	公共下水道未整備地域における生活排水対策の手段として、市町村が小型合併処理浄化槽の設置整備を行う場合、これに要する経費に対し補助する。
36	土木建築部	農業集落排水施設整備推進事業	継続	187,763	農業集落排水施設整備事業を実施する市町村に対し、地方債償還のための基金積立財源として交付金を交付する。
37	企業局	芹川ダム水質浄化パイロット事業	継続	14,700	芹川ダムの水質浄化を推進するため、8月から超音波照射装置による水質浄化実験を実施し、効果の度合いや問題点の抽出を図っている。また、具体的効果の検証を行うため、水質調査を行っている。
38	企業局	北川ダム植物栽培イカダによる水質浄化事業	新規	11,487	北川ダムの水質浄化を推進するため、8月から木製のイカダを10基湖面に試験的に設置し、そこで水中の富栄養分を吸収する野菜類を栽培し、その水質浄化の効果を探っている。
38事業		小計		3,771,563	

4 すべての主体が参加する地域社会の形成

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
1	企画振興部	地域づくり推進事業(大分県地域づくりネットワーク推進協議会負担金)	継続	2,810	県内各地で地域づくり活動を展開している地域づくりグループが実施する交流会等の事業を支援する。
2	企画振興部	広報活動費	継続	194,416	環境問題や環境美化活動について県民に対し広報を行う。
3	企画振興部	ボランティア・NPO協働推進事業(おおいたボランティア市民活動情報バンク整備)	特別枠	3,079	情報バンクに活動情報を掲載する県内のボランティア・NPOの掘り起こしのため、庁内全所属に対しボランティア・NPOの調査を行い、リストアップを行った。
4	福祉保健部	福祉ボランティア活動活性化事業(ボランティア協力校活動費補助)	継続	4,500	今年度は新規28校を含む90校の活動費助成を行う。
5	福祉保健部	老人クラブ助成等事業	継続	49,530	今年度は地域福祉コース80名、子育て支援コース75名の合計155名が入学する。
6	福祉保健部	大分県福祉ボランティア大学校運営事業	継続	4,174	環境関連の活動を行っている組織を含めた県内のボランティア・NPOの活動情報を整理した情報バンクを整備し、インターネットで情報提供を行うとともに、活動情報リストを作成し、関係機関・団体に配布する。
7	福祉保健部	地域児童健全育成事業(母親クラブ活動費助成)	継続	10,016	9月24日に「社会奉仕の日」一斉奉仕活動を実施予定。中央会場として、鶴崎公園の清掃を行う。
8	福祉保健部	児童館運営費	継続	51,650	43市町村100母親クラブの活動費を助成する。うち約60クラブが廃品回収、清掃奉仕、花いっぱい活動等の環境美化活動に取り組む予定。8月末現在で32クラブが実施。
9	生活環境部	環境教育推進事業	特別枠	3,882	民間の20児童館の運営費を助成。8月までに3児童館が空缶拾いや公共施設の清掃活動等に取り組んだ。
10	土木建築部	道路環境美化ボランティア支援事業	新規	4,214	県管理道路の環境美化を計画的に実施するボランティア団体や地元自治会等に対する支援を行った。
11	土木建築部	屋外広告物適正化推進事業	特別枠	1,069	歴史的街並みの保存に取り組んでいる地区や観光客が訪れる地区、環境美化に取り組んでいる地域等を「屋外広告物モデル地区」に指定し、地区内での違反広告物の監視・通報体制の確立するとともに、既設違反広告物(貼り紙、貼り札、立看板)の除去を通じて違反広告物を出させない、美しく住みよいまちづくりを目指す。各土木事務所、市、警察等で協議し、「モデル地区」を選定中。
12	国民体育大会・障害者スポーツ大会局	第63回国民体育大会開催準備事業(大分らしい国体創造事業)	継続	11,092	H15年度に策定した「大分らしい国体を創造するプログラム」を受けた「大分らしい国体創造事業」の中で、県民運動としてのごみゼロおおいた作戦による環境に配慮した美しく快適な県土づくり等を検討するとともに、国体広報にも反映させる。
13	教育庁	みんなで取り組む環境学習推進事業	特別枠	3,057	地域における環境学習の実践研究、学校ごみゼロ実践活動等パネル展の開催、環境教育・学習の教員リーダー養成研修第1期を6月9、10日に湯布院青年の家で実施した。
14	教育庁	青少年ふれあいエコツアー21事業	継続	4,047	自然に恵まれた3つの県立青少年教育施設に異年齢の青少年が集団で宿泊し、地域の人々の参加を得ながら、施設の特徴や地理的条件を活かした体験型環境学習を行う機会を提供する。
14事業		小計		347,536	

## 5 地球環境問題への取組の推進

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
1	生活環境部	エコエネルギー普及促進事業	継続	9,168	小中学校の太陽光発電システム設置補助、ハイブリッド太陽灯の設置等を行う。
2	生活環境部	地球温暖化対策推進事業	特別枠	35,682	地球温暖化防止対策の条例化に向けた調査・検討を行うとともに、県下に地球温暖化対策地域協議会の設置の拡大等をはかり、地域における地球温暖化防止に向けた取り組みを推進する。また、地球温暖化防止活動推進センターが実施する普及啓発事業に要する経費に対して補助するとともにテレビや新聞等のマスコミを活用した普及啓発を実施している。
3	生活環境部	県民共同発電所事業化支援事業	特別枠	1,247	風力発電、太陽光発電のエコエネルギー設備を導入するNPO等の民間団体に対して助成する。
4	農林水産部	緑のボランティア活動支援事業	継続	2,791	森林造成(植栽・下刈)を実施したボランティア団体等に対し、「緑のボランティア活動支援券」を交付して、活動を支援する。また、森林とのふれあい活動、自然体験活動を希望するグループ等に県民の森をフィールドとして貸出し、その活動を支援する。平成16年度は22団体(30ha施業)に交付予定。(平成15年度は14団体(19ha施業)に交付。)
5	土木建築部	県有建築物省エネルギー推進事業	継続	900	県有建築物の電気・機械設備等を改修し、省エネルギー化による光熱水費の削減、地球温暖化の防止を図る。委託準備中。
6	土木建築部	おおいた「エコ建築」推進事業	特別枠	2,752	大分県の気候・風土に適合した『おおいた「エコ建築」設計指針』を策定し、環境配慮型建築を計画・設計する際に考慮すべき基本事項、手法及び簡易な評価方法を示す。委託準備中で、大分県下に存する既存住宅において環境に配慮した内容に関する実例を示すための調査を実施中。
7	企業局	ハイブリッド車導入促進事業	継続	3,638	地球温暖化を防止するための取組として、自動車が出す二酸化炭素の削減を期し、局の公用車にハイブリッド車等の低公害車を導入する。
8	警察本部	発光ダイオード式信号機設置事業	継続	20,028	信号機を省エネ型の発光ダイオード(LED)式のものに切り替える。6箇所導入済。
8事業		小計		76,206	

## 6 環境産業の育成

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
1	商工労働部	新産業創出重点研究開発事業	特別枠	57,500	環境やライフサイエンス等の重点分野の研究開発を推進するため、公募した産学官共同研究体に研究開発を委託することにより、新事業の創出を図る。
2	商工労働部	中小企業金融対策(環境保全対策資金)	継続	73,630	貸付原資を金融機関に預託済。
3	商工労働部	中小企業支援アドバイザー派遣事業(ISO認証取得支援アドバイザー派遣)	継続	1,207	事業を実施する(財)大分県産業創造機構に補助金交付決定済。
4	商工労働部	異分野技術融合化事業	継続	1,981	県内10試験研究課題選定委員会において2件の課題を決定し、予備データの取得実験に着手した。
5	商工労働部	提案型技術開発受託研究事業	継続	10,300	「廃FRP漁船高度利用技術開発」と「杉樹皮製油吸着剤の有効利用及び微生物分會処理技術に関する調査研究」について産業科学技術センターが国から委託を受け、研究開発に着手した。

平成16年度 環境関連事業一覧表

番号	部局名	事業名	事業区分	当初予算額	事業内容及び取組状況
6	農林水産部	環境に優しい養殖技術開発事業（安心・安全で環境に優しい養殖推進事業）	継続	10,031	悪化した養殖漁場環境の改善を図るため、養殖魚からの排泄物を少なくする給餌方法、消化吸収の良い飼料開発をブリを供給魚とし、試験を継続中である。また、排出された有機物を回収するための海藻養殖技術の開発を行っている。
6事業		小計		154,649	
97事業		総計		9,687,657	



